

## 環境共生地域学特論実験 (2単位)

担当者氏名 板垣 啓四郎

### ◆学習・教育目標

環境共生学の分野に関わる統計データの処理と分析手法、現地の実態調査における調査手法と調査データのまとめ方、調査データと統計データをベースにした論文の作成について講述する。

### ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

統計の基礎理論      統計データの収集      統計データの解析      統計データの利用  
 農村調査の手法      農村調査データの解析      農村調査データの利用      調査論文のまとめ方

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	統計の基礎理論(第1～4週)	・統計の基礎理論(簡単な統計処理の方法) ・数式モデルの作出と特定化	本授業のねらいは、論文作成に有用な統計や調査のデータを処理することに重点をおいている。院生自らが自己の研究課題に即して統計処理が応用できるように習得することが望まれる。授業の内容を深化・発展させるために統計学の基礎を事前に習得しておくことがのぞましい。
2	統計データの解析手法と利用方法(第5～8週)	・統計データの様々な処理手法 ・統計データの利用方法	
3	農村調査の手法とデータ処理(第9～10週)	・目的・テーマに沿った農村調査の手法 ・調査データの処理とデータのまとめ方	
4	統計データと調査データを用いた論文のまとめ方(第11～15週)	・データに基づく論文のまとめ方	
5			
6			

### ◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

講義の間に紹介する。

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

講義の間に紹介する。

### ◆評価の方法(レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

講義へ参加の取り組み姿勢と課題レポートにより総合評価する。

### ◆その他受講上の注意事項

事前に統計学の基礎知識をもっていることがのぞましい。